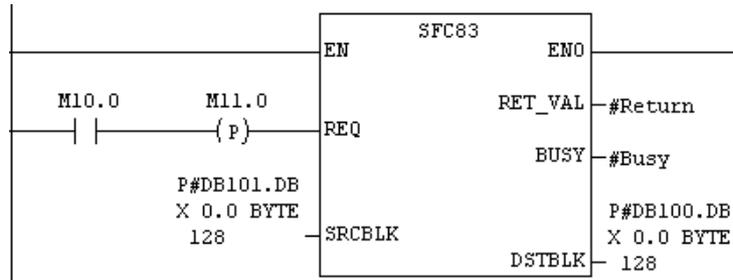


レシピデータの読み込み SFC83 “READ_DBL”



ロードメモリ(MMCカード)

レシピ1	レシピ2	レシピ3	レシピ4	レシピ5	レシピ6
DB101	DB102	DB103	DB104	DB105	DB106
DBB0	DBB0	DBB0	DBB0	DBB0	DBB0
DBB1	DBB1	DBB1	DBB1	DBB1	DBB1
DBB2	DBB2	DBB2	DBB2	DBB2	DBB2
DBB3	DBB3	DBB3	DBB3	DBB3	DBB3
DBB4	DBB4	DBB4	DBB4	DBB4	DBB4
:	:	:	:	:	:
DBB127	DBB127	DBB127	DBB127	DBB127	DBB127

ロードメモリから
ワークメモリへ転送

ワークメモリ

ワークエリア
DB100
DBB0
DBB1
DBB2
DBB3
DBB4
:
DBB127

- SFC83 “READ_DBL”は、ロードメモリ内のデータブロックの現在値をワークメモリのデータブロックに転送します。

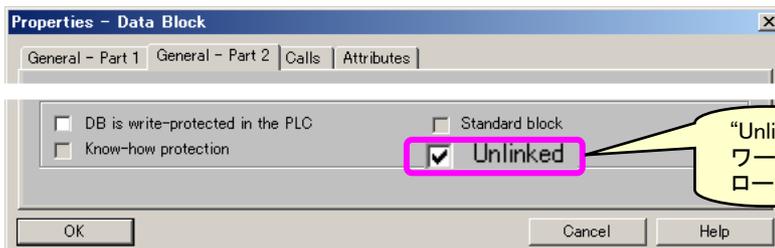
パラメータ

タイプ	パラメータ名	データタイプ	データタイプ	意味
IN	REQ	Bool	I,M,DBX,L	転送の実行ビット
IN	SRCBLK	ANY	P#D	ロードメモリ内の転送元エリア
OUT	RET_VAL	INT	QW,MW,DBW,LW	リターンコード
OUT	BUSY	Bool	Q,M,DBX,L	実行中ビット
OUT	DSKBLK	ANY	P#D	ワークメモリ内の転送先エリア

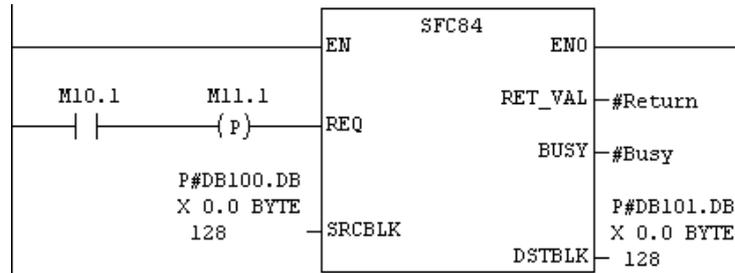
リターンコード

コード	内容
0000	正常終了
8081	転送元エリアが転送先エリアより大きい
0081	転送元エリアが転送先エリアより小さい
8093	転送先エリアが正しくない
80B1	転送元エリアが正しくない
80C0	転送先エリアが他のSFCで使用

- SFC83は、MMCカードタイプのCPUでのみ使用可能です。
- ロードメモリ内にのみ保存しておくDBは、DBのプロパティ画面の“General – Part2”シート内の “Unlinked”パラメータのチェックを入れておきます。



レシピデータの保存 SFC84 “WRIT_DBL”



ロードメモリ(MMCカード)

レシピ1	レシピ2	レシピ3	レシピ4	レシピ5	レシピ6
DB101	DB102	DB103	DB104	DB105	DB106
DBB0	DBB0	DBB0	DBB0	DBB0	DBB0
DBB1	DBB1	DBB1	DBB1	DBB1	DBB1
DBB2	DBB2	DBB2	DBB2	DBB2	DBB2
DBB3	DBB3	DBB3	DBB3	DBB3	DBB3
DBB4	DBB4	DBB4	DBB4	DBB4	DBB4
:	:	:	:	:	:
DBB127	DBB127	DBB127	DBB127	DBB127	DBB127

ワークメモリ

ワークエリア
DB100
DBB0
DBB1
DBB2
DBB3
DBB4
:
DBB127

ワークメモリから
ロードメモリへ保存

- SFC84 “WRIT_DBL”は、ワークメモリ内のデータブロックの現在値をロードメモリのデータブロックに転送します。

パラメータ

タイプ	パラメータ名	データタイプ	データタイプ	意味
IN	REQ	Bool	I,M,DBX,L	転送の実行ビット
IN	SRCBLK	ANY	P#D	ワークメモリ内の転送元エリア
OUT	RET_VAL	INT	QW,MW,DBW,LW	リターンコード
OUT	BUSY	Bool	Q,M,DBX,L	実行中ビット
OUT	DSKBLK	ANY	P#D	ロードメモリ内の転送先エリア

リターンコード

コード	内容
0000	正常終了
8081	転送元エリアが転送先エリアより大きい
0081	転送元エリアが転送先エリアより小さい
8093	転送先エリアが正しくない
80B1	転送元エリアが正しくない
80C0	転送先エリアが他のSFCで使用

- SFC84は、MMCカードタイプのCPUでのみ使用可能です。
- ロードメモリ内にのみ保存しておくDBは、DBのプロパティ画面の“General – Part2”シート内の“Unlinked”パラメータのチェックを入れておきます。

